

ほけんだより

健康診断号



平成28年4月11日

清川村立緑中学校

保健室 No.3

4月12日(火)は、尿検査の日です。尿検査は、尿の中にたんぱく質・糖・血液が入っていないかどうか調べ、腎臓疾患の早期発見にとっても有効な検査です。腎臓疾患は、本人の気付かないうちにかかっていることが多いと言われています。みなさん忘れずに提出してください。

《尿を取る時の注意》

1. 袋の番号を容器のラベルに記入してください。
2. 袋に学年・組・名前・性別・出席番号・年令を記入してください。

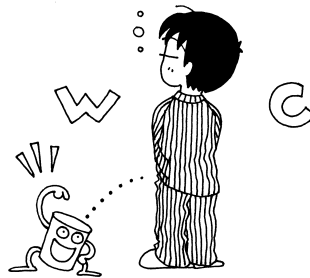
3. 前日(11日)の9時以降はいちごやみかん類、ジュース等のビタミンCを含む物の飲食は避けてください。

(検査で潜血が出にくくなり、正しく検査が出来ない可能性があります。)

4. 寝る前には必ずトイレに行き、^{ぼうこう}膀胱を空にしておきましょう。
5. 朝起きたらすぐトイレに行き、初めの方の尿は捨て中間の尿を採取してください。
6. 出来るだけ容器いっぱい採取してください。
(少ないと検査出来ない可能性があります。)
7. 容器のふたはしっかり締め、袋の口は2回折ってください。

※その他の採尿方法については、紙コップの裏面をよく読んでおいてください。

※生理中の人も提出してください。

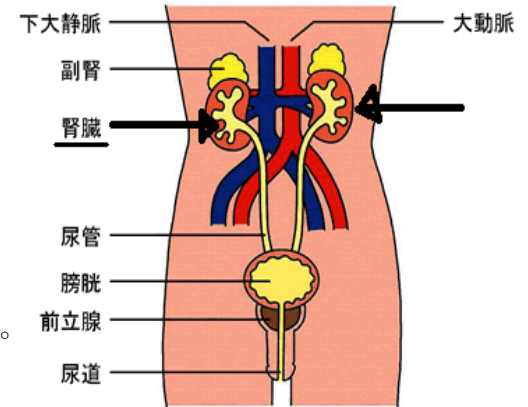


《尿検査とは…》

尿の中にたんぱくや糖、血液が混じっていないかを調べることで、腎臓などの働きに異常がないか、治療の必要な病気にかかっているかをみます。

●腎臓について●

腎臓は汚れた血液をきれいにするために欠かせない臓器です。腎臓に流れ込んだ血液は腎臓に入ると毛細血管に枝分かれし、からだの不必要なものをこしとって尿にします。きれいになった液は腎静脈を通過して心臓に戻り、全身に運ばれます。



●尿検査の結果● ～こんな可能性が考えられます～

たんぱく (+) → ◆一時的なもの

(便秘、生理直前、激しい運動の後、食べ過ぎ、緊張、寒冷)

◆起立性たんぱく尿

(立っていて腎臓が圧迫しておこる)

◆腎炎・ネフローゼ等の腎臓の病気

糖 (+) → ◆一時的なもの

(糖分の多いものを大量に食べた後、薬の影響)

◆肥満や高血圧の症状の一つ

◆腎性糖尿(腎臓機能の特徴により起こる)

◆糖尿病

潜血 (+) → ◆一時的なもの(月経時など)

◆尿の通り道の異常

◆身体の中で赤血球が壊れ、色素が血球の外に大量に出ている 等